

(第六面)

4. 耐震診断の概要

イ. 耐震診断の実施年月日

平成〇〇年 〇月 〇日
-------------

ロ. 耐震診断の方法の名称

<ul style="list-style-type: none"><li>・一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」</li><li>・一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」</li></ul>
---

RC造、一部S造など2種類の診断を行った場合は、診断の方法の名称を複数記載してください。

ハ. 実地調査の概要

別紙による	<p><u>注意書き</u>に記載されている事項を図面等の資料により、報告してください。</p>
-------	--

(注意)

実地調査の概要の欄には、構造耐力上主要な部分の配置、形状、寸法、接合の緊結の度、腐食、腐朽又は摩損の度、材料強度等及び当該建築物の敷地の状況について記入して下さい。

ニ. 耐震診断の結果

番号	耐震性を評価する指標	① 判定指標値	② 当該建築物の最小指標値	評価の目安 (②/①)
A	I s	0.6	0.22	0.36
B	C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub>	0.3	0.41	1.36
C	q	1.0	0.89	0.89

行を適宜追加し、指標ごとに、判定指標値と最小の指標値を記載してください。